

「緑の健都 かめやま」を目指して



亀山市は、平成17年1月の合併以来、平成19年4月からスタートした「第1次亀山市総合計画」及び平成22年4月施行の「亀山市まちづくり基本条例」に基づき、開かれた市政の実現に取り組みながら、5万都市としての新しい歴史を刻んでまいりました。

この間、リーマンショックに端を発する地域経済の低迷、少子超高齢社会の進展、東日本大震災など激動の社会経済情勢の中にありましたが、市民参画協働のもと、新市としての一体感の醸成と持続可能なまちづくりへの歩みを進めてまいりました。一方、地方創生が唱えられる今、私たちには環境変化に適応し進化できうる、地域としての総合力が一層求められております。

このような時代背景と次の新しい10年をみつめ、このたび策定した「第2次亀山市総合計画」では、将来都市像として『歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都 かめやま』を掲げました。小さいながらも「暮らしやすさ」や「心地よさ」を備えた活力ある都市として、また豊かな緑や歴史文化に包まれ健やかに暮らし続けられる都市として、誰もが幸福実感へとつながる健康都市を目指してまいります。

現在、世界ならびに我が国の社会経済情勢は変動期にあり、また、近年の自然災害の猛威や人口減少社会の到来、財政の持続可能性など、地方自治体には従来の延長線上にない対応が不可欠です。本市を取り巻く状況は、今後も変化と厳しさの中にあると予測されますが、進むべき方向を見定め、本市の多彩な地域資源と地域の信頼の絆を礎に、未来への基盤づくりへと大きく舵を切ってまいります。

私たちは、2025年までを計画期間とするこの新しい総合計画を愛称『グリーンプラン2025』と名付け、その具現化に全力で取り組みます。今日、本市は交通拠点性と都市活力の飛躍的な向上への好機を控え、次なるステージへの着実な施策展開をはかってまいりますので、市民の皆様のおなご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました亀山市総合計画審議会の皆様をはじめ、貴重なご意見・ご提言をいただきました議会ならびに市民の皆様にお心より感謝申し上げます。

平成29年3月

亀山市長